

経営導入演習

担当者： 小林 哲也

テーマ： グループ活動を通じた共通目標の達成

【授業の方法】 演習

連絡先・オフィスアワー： 初回授業時に説明

【到達目標】 青森公立大学経営経済学部のディプロマ・ポリシーである「社会生活を営むうえで必要なコミュニケーションや情報リテラシー等の技能を身につけるとともに、地域社会の一員としての自覚をもち、自己を律し他者と協働して、地域社会の発展のために積極的に関わることができる。」を達成できる能力の構築を最終的な到達目標とする。

【演習概要】

与えられた課題について、チームで協力しながら目標を達成するための方策、戦略を考え、時間内に達成・成功できるようにとにも知恵を出し合い、課題を達成できるようにするためのグループワークの実践

【進め方】

第1回：この授業の概要説明と、到達目標の説明、チーム内でのメンバー理解のためのワーク（アイスブレイク）

グループワークを進めるにあたり、チームでの意思疎通の重要性を理解できる。

第2回：設定された目標の解決手段の模索と最善の方法に対するアプローチ（グループワーク1）

設定された目標への最善の到達方法を考えることで各人の持つ知識や情報の統合の方法とその重要性を理解できる。

第3回：設定された条件をクリアする数多くの方法の創出に対するアプローチ（グループワーク2）

設定された条件をクリアする解決策をできる限り創出し、それを類型化することで理解しやすくできるようにする。

【テキスト・参考文献】 教員作成レジュメおよび資料を配布

【評価基準・方法】

グループの成果・課題解決の方法に関する評価：50%

グループへの参加の程度・グループへの貢献度に関する個人への評価：25%

グループにおけるリーダーシップ等の積極性・発言力、協調性に関する個人への評価：25%

で評価を行う

【実務経歴】

調査研究機関での研究員としての勤務経験（およそ10年）